

1. プロフィール

ふりがな ほんま			年齢	
氏 名 本間 まさよ			67歳	
職 業	市議会議員	生年月日	1956年 3月20日	
住 所	武蔵野市境南町3－14－23			
最終学歴	淑徳短期大学社会福祉学科卒			
略 歴	1956年 武蔵野市吉祥寺本町生まれ むさしの共立診療所にて10年間、医療ソーシャルワーカーとして勤務 1987年武蔵野市議会議員 監査委員、議運、外環、各常任委員長歴任 2017年市議会初の女性議長に			

2. 自己紹介

「生命と暮らしを守る政治を前に」と議員活動を続けています。

保育給食実現、虐待防止のショートステイの食事代が値上げされたときに「命の関わる」と撤回を求め、市に減免制度を作らせました。

昨年、議会で「物価高から、暮らし支援」を訴え、学校給食、保育園、福祉施設への市独助成が実現しました。

引き続き、公約実現に向け頑張ります。

3. テーマ①「市議として最も取り組みたいテーマ」について

市議になった場合、最も取り組みたいテーマについてお考えをお聞かせください。

学校給食無償化など教育費負担軽減
補聴器購入費助成の補助
気候危機対策、再エネ・省エネの推進
物価高から市民のくらし支援策
平和の声を武蔵野から国に向けて発信

4. テーマ②「武蔵野市の今後の方向性」について

武蔵野市はどのようなまちづくりをしていくべきなのか。武蔵野市が今後目指していくべき方向性について、お考えをお聞かせください。

まちづくりは市民参加でと主張しています。今後のまちづくりについても、市民の参加の下進めていくことが大事だと考えます。

5. テーマ③「住民投票制度のあり方について」

昨年、住民投票条例案は否決されましたが、住民投票制度は今後どうあるべきか、お考えをお聞かせください。

住民投票制度は、特定の問題について住民が直接意思を示す制度で、住民の重要な意思表示の場となり、大事な制度だと思います。市民の方に十分制度を理解いただき、活用しやすい制度ができることを望みます。